



国際文化学科
玉井 昇 先生

『ソフト・パワー — 21世紀国際政治を制する見えざる力』

ジョセフ・S・ナイ 著、山岡洋一 訳（日本経済新聞出版社）

ここでいう「パワー」とは他人を従わせるような力のことです。国際関係におけるパワーとして、まず思い浮かぶのは、軍事力や経済力のような「ハード・パワー」でしょう。つまり、核兵器で脅かすこともあれば、お金（援助）をちらつかせる場合などもあります（拙著『国際関係論24講』24頁参照）。これに対して「ソフト・パワー」とは、本書の中で「強制や報酬ではなく、魅力によって望む結果を得る能力」と定義されています。



その「ソフト・パワー」の一つとして、文化が取り上げられています。文化は、文学・芸術・教育のような「高級文化」と、娯楽を中心とした「大衆文化」に分類されており、日本文化のソフト・パワーにも言及されています。そして、その魅力を伝達する手段として、インターネットによる情報社会システムの活用が論じられています。

本書の中でも指摘されているように、21世紀の国際関係を考える上で、文化と情報という要素が注目を浴びてきています。他方で、芸術、文化、情報というのは、本学の教育を語る上でも「キー」となる概念でしょう。転じて、我々は「なぜ、芸術・文化・情報を学ぶ必要があるのか」。本書は国際関係の視点から、そんな問いの答えを探す一助になるかもしれません。（たまい のぼる／国際関係論）



情報コミュニケーション学科
関口 洋美 先生

語学との永遠の戦いの中で 「ダーリンの頭ン中～英語と語学～」

小栗左多里&トニー・ラズロ 著（メディアファクトリー）

私は中学生のころから、英語が苦手でした。大学でも大学院でも、教授陣が目を見詰めてきません。それでも大学院まで修了できたのは、語学の授業はすべて他のパフォーマンスで加算してもらってきたからです。特に大学院では、「英語ができる学生はたくさんいるが、あなたはパソコンと統計ができるからいい」とおおめにみられました。とにかく語学は「大嫌い」の人生を送ってきました。そんな私が、少しでも語学を見直すきっかけになったのが、「ダーリンの頭ン中」です。ひたすら覚える、覚えるために繰り返す、それが嫌いな原因でしたが、語学は文化の違いを学ぶものなのだ、初めて実感しました。つまり、文型という構造ではない、文化の構造があるんだと初めて感じたのです。もちろん、好きになったわけではありません。ほんの少し歩み寄っただけですが。また最近では、アジア圏に多い「オノマトペ」の研究を手がけているため、言語の違いが文化の違いを学ぶものなのだという考え方が役に立っています。活字は苦手という学生の皆さんも、マンガですからご安心ください。マンガというだけでなく、短編集ですのでさらに読みやすいと思います。（せきぐち ひろみ／教育心理学）



あなたもリクエストしてみませんか！

あなたが読んでみたい本、聴いてみたいCDなどが図書館に所蔵していない場合には、どしどしリクエストしてみてください。予算面などで購入できないこともありますが、できるだけ要望にお応えしたいと思っています。所定の用紙に記入してカウンターに提出するだけで、申し込みも簡単です。



今年度リクエストで購入した本の一部です。



ツイッター（図書館職員のつぶやき）

こんにちは、図書館の篠田です。図書館で働き始めて半年が過ぎました。日頃の業務に追われていますが、充実した毎日を送っています。働き始めて、嬉しいと感じたことなどを書いてみたいと思います。以前から図書館の場所がわかりにくく、あまり図書館の存在を知られていないことを耳にしていますが、今年は昨年よりも利用者がかなり増えています。たくさんの方の皆さんが足を運んでくれるのは嬉しい限りです。現在、図書館では書架の増設、観葉植物の設置、わかりやすい掲示、照度アップなどの環境整備や色々な企画展示を行っています。今後も、利用者が使いやすい環境になるよう、また気軽に足を運んでくれるよう、利用しやすい場を提供していきたいと思っています。



大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin

No. 15
2010. Nov.



表紙作品 『ひとり』 森本 幸子（1986年美術科卒業）
もの思いにふける女性と鮮やかな色彩で大胆に描かれた背景。のびやかな表現の中に心地よい温もりを感じさせる作品です。

Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② 試読室へ行こう！
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ あなたもリクエストしてみませんか！
- ⑥ ツイッター（図書館職員のつぶやき）



キャラクターデザイン：若杉郁子

大分県立芸術文化短期大学附属図書館 図書館だより No.15	
発行日	2010年（平成22年）11月19日発行
編集・発行	大分県立芸術文化短期大学図書委員会 大分県立芸術文化短期大学附属図書館 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 電話：(097) 545-4235 ウェブサイト：http://www.oita-pjc.ac.jp/library/（図書館） http://www.oita-pjc.ac.jp/library/dayori/（図書館だより）
印刷	小野高速印刷

先生おすすめの1冊



美術科
松本 康史 先生

「陰翳礼讃（いんえいらいさん）」

谷崎潤一郎 著（中公文庫）

「陰翳」の中で美を見出し創造してきた日本文化を賞賛したエッセイである。建築／照明／紙／食器／食べ物／化粧／お能や歌舞伎の衣装など、様々な分野にわたって「陰翳」について考察され、現代日本ではすでに失われてしまった美意識が美しく描写されている。



現代日本の夜は「光ストレス」という言葉さえ生まれるほどに明るく、家庭では蛍光灯によって限無く白々しく照らされ、真夜中のコンビニではどうかしなかったんじゃないかと思うほどに明るい。蛍光灯や水銀灯の白々しい光の下で育った我々にとってはこれがごく普通の光景である。しかしこのような環境で育った我々でも、古い日本家屋や神社仏閣に入ったとき「なんとなく落ち着く」「なつかしい」と感じる事がある。古い建築に限らずとも同じように感じる空間がある。本書ではその感覚のルーツに触れることができ、我々日本人のDNAに潜む美意識の素晴らしさを発見できる。デザインや美術を学ぶ人にはぜひ読んでほしい一冊である。（まつもと やすし／プロダクトデザイン）



音楽科
森口 真司 先生

「アメリカ人の半分はニューヨークの場所を知らない」

町山智浩 著（文藝春秋）

今や最も人気のある映画評論家と言っているアメリカ在住の映画評論家町山智浩さん、一方でキネマ旬報社に乗り込んで編集者にパイを投げつけ、ネットTVで江原某に対して「本当に霊能者だったらオレを喰い殺してみろ、このデブ！」とブチ切れる等、かなりの狂気を含んだ困ったお方です。しかし映画に対する深い愛情、細部にわたる異常なまでの記憶力、背景に隠されたものを読み取る力には素直に脱帽してしまいます。このところ立て続けに出ている町山さんの本はどれも大変面白いのですが、今回のおすすめは映画に関する本ではなく、現代アメリカ社会の問題（かなりおバカな、でもシャレにならない）をえぐり出した本で、アメリカという超大国の実情を知りたい人には必読の書です。「キャプテンアメリカはなぜ死んだか」「オバマ・ショック」「アメリカは今日もステロイドを打つ」—私の現代アメリカに関するネタはすべて町山本の受け売りです。とにかく面白さは保証しますのでぜひ読んでみてください。なお映画に関する2冊『2001年宇宙の旅』から「未知との遭遇」までと『ブレードランナーの未来世紀』も必読。（もりぐち しんじ／指揮）



試聴室へ 行こう!



音楽科
河野 敦朗 先生

～試聴室おすすめのディスク～

バッハ平均律クラヴィア曲集 第1巻 グレン・グールド
請求番号 C1850 1-2

このCDは、演奏者のグールドとバッハの作品という2つの面から取り上げました。グールドは1932年に生まれています。一言でいえば、演奏家らしくない演奏家かもしれません。デビューしてからまもなく(といっただけで短期間で)ステージでの演奏を停止し、録音にのみ没頭します。それはグールドがステージでの演奏では実現できない音楽のありかた、伝わり方を狙っていたからだと思います。いわば作品についての自身の分析に基づいた音楽の本質的な姿を、その伝達までも含めて実現したかったのではないのでしょうか。それにはステージでの演奏は向かなかったのでしょう。そしてその録音作業は編集といったものに近いかもかもしれません。一見モチーフを切り貼りしたような、フレーズをばらばらにしたような音楽作りも、周到な分析と、新しい意匠に満ちています。それは作曲家の作業に近いところがあるかもしれません。

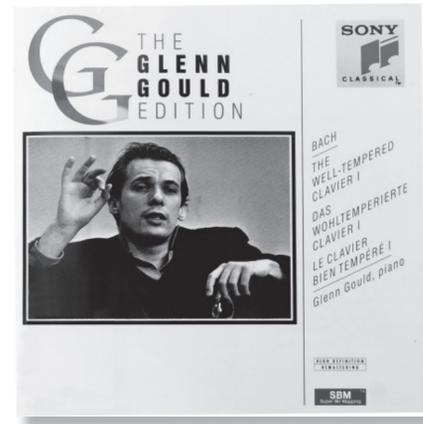
とにかくこのようなスタンス・方法で音楽活動をした演奏家はいません。いろいろ変わった言動や完璧なテクニックはさておき、芸術や音楽の本質に向かう精神、周到な分析から自身の音楽を形作って行こうとする高い精神は稀有のものです。

平均律クラヴィア曲集は、やはり鍵盤音楽の最高の内容を持つ作品です。これがまだ30代の作品という

のは驚きます。また私自身フーガの勉強をしているとき、ひとつも同じ形のフーガがなく、表現もあまりに自由で何の参考にもならなかった覚えがあります。しかしさらに後年のバッハの対位法音楽を考えると、バッハの本質は、あまりに深く自由であることに気付かされます。この曲集もまだバッハの入口です。

そんなグールドとバッハの出会いがどんなものであるかは、皆さんが聴いて感じてください。でも皆さんが音楽をしていくとき、ある作品や作曲家によって自分自身の感性や音楽に気づき自分を発見することは大切なことで、それぞれ音楽をしている大きな意味かもしれません。

(こうの あつろう/作曲)



学生選書ツアー



7月17日(土)、ジュンク堂書店大分店において、公募により選ばれた5名の学生が、図書館に配架する図書を選ぶ「第1回学生選書ツアー」を行いました。

下の表は、選書ツアー参加者がみなさんに特に読んでほしいと思うおすすめの本についての「一口コメント」です。学生選書ツアーは、今年度から2回実施することとしておりますので、これからも多数の方の応募をお待ちしています。

参加者が特にすすめる本のコメント

学科・氏名	美術科 1年 松尾 悠未		
タイトル	「でかい月だな」 水森サトリ 著 (集英社)	「シアター!」 有川 浩 著 (メディアワークス)	「王様ゲーム」 金沢伸明 著 (双葉社)
一口コメント	幸彦は、友達の数瀬に崖下へと蹴り落とされた。綾瀬は、なぜそんなことをしたのが、自分でもわからないと言う。一命を取りとめたものの、足に障害が残った幸彦は学校に戻るが、どことなく現実味に欠けた気分が続いていた。そして、夢の中に「やつら」が現れた…。	「守銭奴、けっこう!金は正義だ!」春川巧は「シアターフラッグ」主宰の作・演出家だ。劇団のピンチにいつものように兄を頼るが、三百万の借金の条件は、今から2年で劇団が上げた収益のみで借金返済。できなかつたら劇団をつぶす。制作に「鉄血宰相」の巧の兄を迎え、劇団の存亡がかかった挑戦が始まった。	「送信者:王様、件名:王様ゲーム、本文:これは、あなたのクラス全員で行ってもらおう王様ゲームです」正体不明の「王様」から送られてくるメールの無茶苦茶な命令に従わなければ罰として残酷な死が待っている。王様とは誰か、王様ゲームの目的は?全ては謎のまま、王様ゲームが始まる。

学科・氏名	美術科 1年 金原 葵		
タイトル	「地下街の雨」 宮部みゆき 著 (集英社)	「日本力」 松岡正剛 エバレット・ブラウン 著 (PARCO 出版)	「回想電車」 赤川次郎 著 (集英社)
一口コメント	この本には7つの短編があり、それぞれ7通りの恐ろしさと、ドキドキと心臓をときめかせるものがある。一瞬のドキッやジワジワとくる恐怖、そして最後の最後で訪れるヒンヤリとした空気など、ぜひ読んでたしかめてみて下さい。	字も大きく、対談風になっており、とても読みやすいです。日本人が忘れてしまった「何か」を探したり、自分や他人や日本をじっくりと考えることのできる一冊だと思います。	不思議な時間軸で描かれた9編の物語は、主人公の気持ちにすっぱりおかわれ読み進んでしまおう。そんな巧みな心理描写がとてもおもしろいです。

学科・氏名	情報コミュニケーション学科 1年 工藤千緋呂		
タイトル	「最後の家族」 村上 龍 著 (幻冬舎)	「新しい自分に 出会う本」 ジェリー・ミンチン 著 弓場 隆 訳 (ディスカヴァー・ トゥエンティワン)	「危ないダイエット」 阿部純子 著 (ディスカヴァー・ トゥエンティワン)
一口コメント	親子であるのに出来てしまう壁。しかしその壁は親子であるからこそ乗り越えられる。親子の絆とは何かを考えさせられる。タイトルは「最後の家族」、家族に何故「最後」というタイトルを付けたのだろうと興味深くこの本を選んだ。家族との関係が上手くいっていない人も、家族の大切さを想いながら読んでほしい。	この本は、1ページめくると青い字で重要なメッセージを書いてくれている。「新しい自分に出会う」ためには、待っているだけでは駄目なのだと感じた。思いきって踏み出した一歩に「新しい自分」と出会う事ができるのではないかと。今の自分に満足していないのなら、この本を読んでほしい。	現代の若い女性たちは、ダイエットの仕方を間違えている。また、「やせる」ということに異常なまでの執着心を持っている。怖かったのは、「痩せるサプリメント」には覚せい剤と同じ成分が含まれているものもあるということだ。それをインターネットなどで簡単に手に入れしめるのだから恐ろしい。この本を読んで健康的に痩せるとはどういうことなのかを考えて欲しい。

学科・氏名	情報コミュニケーション学科 1年 橋口みさき		
タイトル	「池上彰のメディア・リテラシー入門」 池上 彰 著 (オクムラ書店)	「FREESTYLE」 大野 智 著 (M.Co.)	「劇団☆新感線 30年 サムライたちの軌跡」 (朝日新聞出版)
一口コメント	難しいことは書いていないので、メディアに興味がない人でも、分かりやすく読みやすい本だと思います。	作品だけでなく、制作過程も紹介されていて見ごたえのある作品集だと思います!また、作品をつくるきっかけなども語ってくれていて、とても貴重な一冊です。	劇団☆新感線の舞台をみたことがない人でも、この本を読めば、興味がわいてくるのではないかと思います。今までの歴史なども書いてあって、おもしろかったです!

学科・氏名	情報コミュニケーション学科 2年 山元 泰幸		
タイトル	「現職人事が書いた 公務員になりたい 人への本」 大賀英徳 編著 (実務教育出版)	「市役所上・中級 教養・専門試験 過去問500」 資格試験研究会 編 (実務教育出版)	「ぐっすり眠って!! すっきり目覚める!! 脳機能を活性化する 超快眠術」 吉米地英人 著 (牧野出版)
一口コメント	この本は主に、公務員を目指す人のために、いろいろアドバイスしてくれそうです。公務員以外でも応用可能なので、ぜひ読んでみて下さい。	平成7年から平成21年度の問題が収録してあります。かなり高価なため、書店で買えなかったという人でも図書館で借りられるようになりました。有効に活用しましょう。	快眠のために重要な事は、「寝る1時間前に部屋を暗くする」「あらかじめ体温を上げておく」「音をさえぎる」「電磁波を出すものは近くに置かない」「寝具は刺激の少ないものを」…etc. 気になったら読んでみて下さい。

こんな本が新しく入りました

平成22年4月から10月までの受入資料の中から掲載しています。DVDは館内で鑑賞できます。

NO	書 名	編 著 者 名	図書ラベル	配置場所	定 学科名
1	DOSCH HDR I : Street Backplates	DVD (デザイン)	DVD/723/1-2	DVD コーナー	美
2	デザインスタンス:新世代のクリエイターと仕事	萩原修	757/H14/1	第1 閲覧室	美
3	なぜ人は美を求めるのか:生き方としての美学入門	小穴晶子	701.1/Ko11	第1 閲覧室	美
4	観じる民藝	尾久彰三	750.4/O26	第1 閲覧室	術
5	生活雑貨のデザイン	石川はるな, 磯部晴樹	501.8/I76	第2 閲覧室	術
6	デンマークの椅子 椅子は最も人間的な道具である	織田憲嗣	758/O17	第1 閲覧室	科
7	日本のファッションデザイナー 100	庄野祐輔 他	589.2/Sh96	第2 閲覧室	科
8	「マノン・レスコー」(名作オペラシリーズ)	Giacomo Puccini	DVD/663/28	第2 試聴室	音
9	「ノルマ」(名作オペラシリーズ)	Vincenzo Bellini	DVD/663/29	第2 試聴室	音
10	Capriccio italien : für Orchester : Op. 45	Tschaikowsky	B90/Tch/BrH 1/38-38/38	第1 閲覧室	楽
11	Gaspard de la nuit	Ravel	B1.2/Rav/OT	第1 閲覧室	楽
12	Élégie pour deux pianos	Francis Poulenc	B7.1/Pou/MA	第1 閲覧室	楽
13	Concerto for bassoon and strings	Gordon Jacob	B7.49/JacG/S&B 1/2/2/2	第1 閲覧室	科
14	Música para piano	Joaquín Turina	B1.2/Tur/UME1	第1 閲覧室	科
15	イスラームの創始と展開	佐藤次高	162/Sh99/11	第3 閲覧室	国
16	古典を読む	小野紀明	116.8/O67	第3 閲覧室	際
17	「あこがれ」他 (全12本)	フランソワトリエフォー(監督)	DVD/705	DVD コーナー	文
18	「カトリニス」他 (全9本)	ジャン・ルノワール(監督)	DVD/717/1-3	DVD コーナー	化
19	中国における日本租界	大里浩秋, 孫安石	334.4/O74	第2 閲覧室	学
20	松崎懺堂全集	松崎懺堂	121.5/Ma92/1	第3 閲覧室	科
21	フロイト全集 1-4	フロイト	146.13/F46/14	第3 閲覧室	科
22	モホークの太鼓	ジョン・フォード(監督)	DVD/701	DVD コーナー	情
23	鈍獣 (第49回岸田國士戯曲賞受賞)	宮藤官九郎 (作)	DVD/734/1-2	DVD コーナー	報
24	認知行動療法のすべてがわかる本	清水栄司 (監修)	146.8/Sh49	第3 閲覧室	コ
25	利他行動を支えるしくみ	真島理恵	361.4/Ma64	第2 閲覧室	ミュ
26	コーチングに役立つ実力発揮のメンタルトレーニング	ロビン S. ビーリー	780.7/V51	第2 閲覧室	ニ
27	日本的経営とリーダーシップ	加藤肇慶	335.2/Ka86	第2 閲覧室	シ
28	揺らぐ子育てに基盤—少子化社会の現状と困難	松田茂樹 [ほか]	369.4/Ma74	第2 閲覧室	ョ
29	これからレポート・卒論を書く若者のために	酒井聡樹	816.5/Sa29	第2 閲覧室	附
30	乙女の密告 (第143回芥川賞受賞)	赤染晶子	913.6/A33	第3 閲覧室	属
31	これからの「正義」の話をしよう	マイケル・サンデル	311.1/Su62	第2 閲覧室	関
32	小惑星探査機はやぶさの大冒険	山根一真	538.9/Y36	第2 閲覧室	図
33	豊前豊後の幕末維新騒乱	清原芳治	219.5/Ki85	第3 閲覧室	書
34	ニッポンの風景をつくりなせ	梅原真	675.3/U64	第2 閲覧室	館
35	あらすじで読む名作 能50	多田富雄 [ほか]	773/Ta16	第2 閲覧室	館